

【補足説明資料】
— FAST-Dのご紹介 —

四国電力株式会社への異常音検知AIソリューションの提供

「FAST-D モニタリングエディション」を活用した設備監視を開始

2026年6月29日

Hm c o m m株式会社

東証グロース市場

証券コード：265A

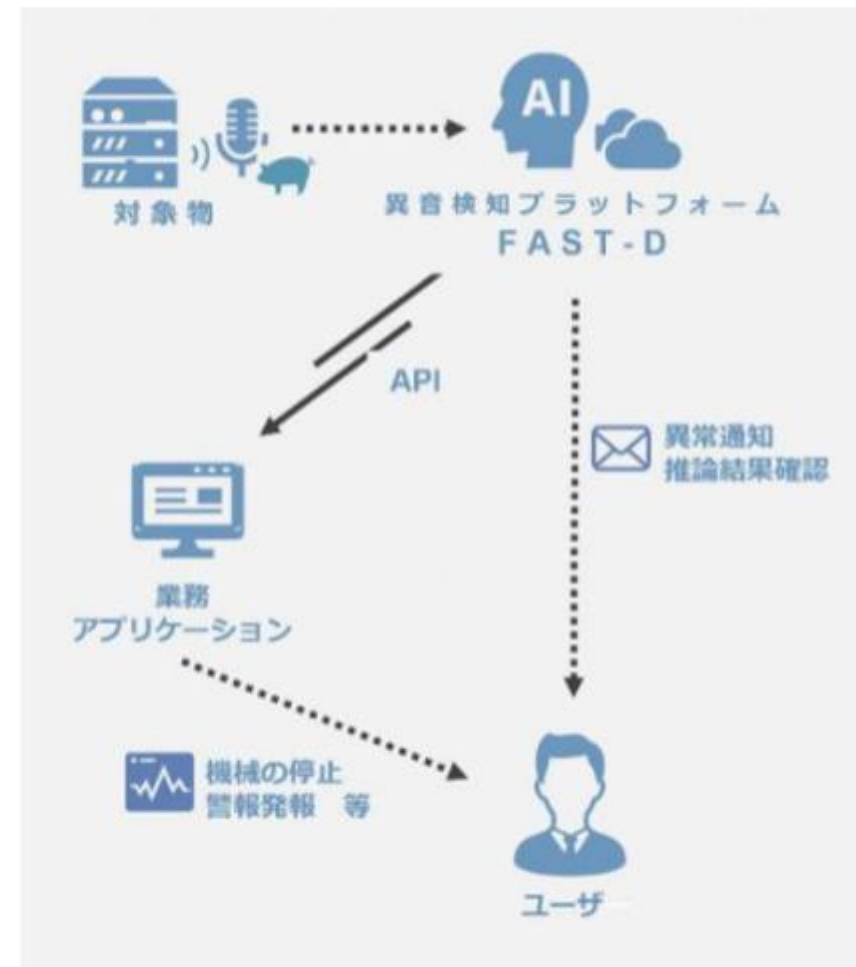


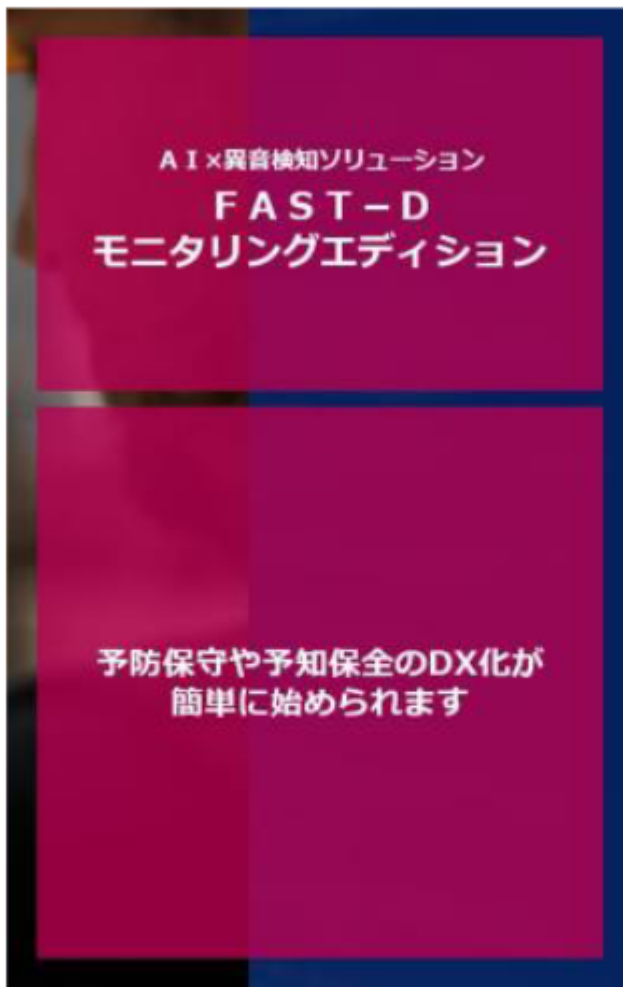
異音検知プラットフォーム「FAST-D」とは

FAST-D (Flexible Anomaly Sound Training and Detection, (<https://fast-d.hmcom.co.jp/>)) は、異音検知 AI の導入を驚くほど簡単にするクラウド型プラットフォームです。

あらかじめ用意された業界別・機器別の「標準学習モデル」により、早期に導入可能。スモールスタートからスケールアップまで柔軟に対応できます。

また、お客様固有の設備や現場環境に最適化された AI モデルを開発する PoC（実証実験）サービスもご用意。
多数の導入実績と高い検知精度により、予防保全や異常検知の高度化を実現する新たな社会インフラとして、製造業・インフラ・鉄道・自治体を中心に急速に普及が進んでいます。





モニタリングエディション アップデート概要

【AIモデル自動最適化・長期トレンド分析機能等を搭載】

- ① 異常音のトレンド可視化機能を新搭載
過去の異常検知履歴を自動で蓄積・グラフ化し、
長期傾向の分析が可能に。
異常兆候の早期発見と予防保全に貢献します。
- ② AI モデル自動最適化機能
現場の環境ノイズに応じて、ユーザーにてAI モデルを学習・
再調整できる機能を搭載。保守現場の負担を大幅に軽減します。
- ③ UI/UX の全面刷新
直感的な操作を実現するインターフェースを再設計。
初めてのユーザーでもスムーズに導入可能です。
- ④ 処理速度・安定性の飛躍的向上
最大 60%の処理時間短縮（当社比）。
クラウド連携による安定性も大幅強化しました。



設備保全業務の変革：インフラ保全DX

As-Is：従来のアナログ保全



属人的な巡回点検

熟練者の「経験」と「五感」に依存。

判断基準の標準化が困難で、技術承継に課題。



時間保全 (TBM) 中心

一定期間ごとの点検・交換。

点検外の突発的な故障リスクと過剰整備コストが共存。



To-Be：音響AIによるスマート保全



※画像はイメージのため、実際のサービスとは異なります。



定量的な常時モニタリング

「FAST-D」が24時間稼働音を解析。

AIによる客観的な異常判定で、判断の質を平準化。



状態基準保全 (CBM) の実現

異常の兆候を検知した際に即応。

突発故障を防ぎ、メンテナンスコストを最適化。

本資料は、当社の事業内容や業績等に関する情報提供を目的として作成されたものであり、有価証券の取得、売却等の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する判断は、ご自身の責任にて行っていただきますようお願いいたします。

本資料には、いわゆる「将来の見通し(forward-looking statements)」が含まれる場合があります。これらは、現在入手可能な情報および合理的と判断される前提に基づいて作成されたものであり、不確実性を含んでおります。実際の業績等は、記載された見通しとは大きく異なる可能性があります。

なお、当社は将来の見通しに関する記述について、新たな情報や将来の事象に基づいてこれを更新または修正する義務を負うものではありません。